



大盛況！玉ねぎ求めて長蛇の列

6/18～19 安曇野玉ねぎ祭り

安曇野玉ねぎ祭りが6月18日(土)・19日(日)、市内16カ所の会場で開催され、玉ねぎを買い求める多くの来場者によって長い列ができていました。

今年は今までにないほどの大盛況で、初日の午前中には完売となる会場も続出。生産者も会場の交通整理や玉ねぎの運搬に追われていました。

ニュースで玉ねぎ祭りを知り、収穫体験に参加した熊谷綾子さんと依采ちゃん(三郷温)は、「小さい玉ねぎはお味噌汁に、大きい玉ねぎは肉じゃがやカレーにして食べたい」と笑顔で話し、掘り起こした玉ねぎを一つ一つ丁寧にネットに詰めていました。



3年ぶり 復活のあやめ公園にぎわい

6/18～19 安曇野明科あやめまつり

安曇野明科あやめまつりが3年ぶりにあやめ公園で開かれ、満開のハナショウブとイベントを楽しむ来場者でにぎわいました。当日は、新型コロナ対策で縮小開催となったものの、太鼓の演奏やキッズダンスなどのステージイベントやフォトコンテスト、地元の特産品販売などが行われました。

駒ヶ根市から夫婦で訪れた平城和夫さんと富貴子さんは「いろいろな種類があって特に大きい花が見事。手入れが行き届いてとても気持ちがいいです。ちょうど見頃の時期に来られてよかった」と話してくれました。



幻のワサビ「タカイ」を探しています

7/8 南安曇農業高校生物部 情報募集中

南安曇農業高等学校生物部では、昭和35年ごろまで安曇野周辺で栽培されていたワサビ「タカイ」を探しています。

現在市内で栽培されているワサビはイモの成長が早い品種が主流ですが、タカイは、連作障害で栽培されなくなった青茎系のワサビで、休耕地や庭の片隅などに残っている可能性があります。なお、品種の特定にはDNA鑑定が必要です。

同校生物部1年の三村梨花さん、横川和磨さん、福澤優羽さんは、「タカイは、ワサビの系統を解明するうえで重要なもの。どんな些細なことでもいいので、情報を寄せてほしい」と話しました。

情報は、南安曇農業高等学校生物部 ☎72・2139まで

■すべての人が「らしさ」を十分に発揮できる社会を目指して

市では、性別や性自認、性的思考、国籍、障害の有無による差別を禁止する「多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」を4月に施行しました。7月6日には、令和5年度からの5カ年計画の策定に向け計画案を、多様性を尊重し合う共生社会づくり審議会(尾基ゆみ会長)に諮問しました。



共生社会づくりに向けて諮問(写真 太田市長と尾基会長)

「デザイン」、多様な性への理解を含めた「男女共同参画」、外国人支援を中心とした「多

■アウトドアスポーツ強化に向け 包括連携協定締結

市は、大阪市に本社を構える株式会社モンベル(辰野勇代表取締役会長)と「安曇野市と(株)モンベルとの連携と協力に関する包括協定」を結び、7月11日、モンベル本社にて締結式を行いました。令和2年10月には、市と同社はフレンドタウンの覚書を締結しており、これまでモンベルの会報誌やウェブサイトをを通じて安曇野PRを行ってきました。

観光やアウトドア体験の強化はもちろん、観光面以外の幅広い分野での連携が期待されます。太田寛市長は、「安曇野の豊かな地域資源を存分に生かした『アウトドアスポーツの聖地』となることを目指すとともに、だれもが安心して楽しむユニバーサルツーリズムや農業の活性化など7つの協定項目の実現をめざしたい」と話しました。



豊かな地域資源をアウトドアに活かす協定締結(写真 辰野代表取締役会長と太田市長)

令和3年度 安曇野市スポーツ協会表彰

功労者・優秀選手を表彰

安曇野市スポーツ協会(赤羽高明会長)はこのほど、令和3年度表彰を発表しました。多年にわたる優秀選手育成の功績から、功労賞には、安曇野空手道連盟・哲士義塾道場の清水ちずるさん、指導者功績賞には、穂高東中学校・男子ソフトテニス部顧問の土屋善成さんが選ばれました。そのほか、競技者として次の皆さんが受賞されました。(敬称略・令和3年度時の所属)

- 【栄光賞】▷林原ニコラス大輝(空手・真武館)▽落合華七斗(陸上・佐久長聖高)▷隠岐魁人(空手・誠拳会)【奨励賞】▷酒井幹汰(陸上・豊科高)▷中野遥(柔道・明科高)▷中谷息吹(陸上・松本国際高)▷小林春輝(スキー・穂高西中)▷古幡悠馬、三枝逸勢(ソフトテニス・穂高東中)▷藤澤洸起(テニス・松本深志高)▷逸見陽人、青柳瑠泉、沖妃華、管里佐子、胡桃有沙(登山・大町岳陽高)▷平林優奈、鱈川優那、熊野礼紫(バスケットボール・東海大付属諏訪高)

